

ライブ・レット ニュース・8月号 LIVE LET NEWS

橋は壊れてからでは遅い ー予防保全という新しい橋梁維持管理へー

2026年7月、愛知県の国道23号
「名四バイパス（竜宮高架橋）」で
橋桁に複数の亀裂が確認され、上下線
の通行止めが実施されました。

調査では、橋桁の一部に繰り返し
荷重が作用したことによる疲労が原因
とされています。

インフラの老朽化が進む今、
「壊れてから補修する」のではなく、
「壊れる前に守る」という予防保全の
考え方が、これまで以上に重要と
なっています。

【なぜ亀裂が発生するのか？】

橋梁は毎日、多くの大型車両が通行し、溶接部などには目に見えない疲労が少しずつ蓄積します。

その疲労が限界を超えると亀裂が発生し、交通規制や緊急補修など社会への影響が大きくなる場合があります。

▼実際の様子



異常状況写真



▲亀裂のメカニズム ※ 写真出典：国土交通省 中部地方整備局

【そこで注目される技術】循環式ショットピーニング工法!!

9月号で詳細を掲載!!

株式会社 ライブ・レット

〒400-1508 山梨県甲府市下曽根町1133-1
055-269-9293 055-269-9294
kanda@live-let.co.jp https://live-let.co.jp/

お問合せQRコード



※こちらを読み取り、
メールをお送りください。

最新情報を各種SNSで発信中！



HP



Instagram



YouTube

ライブ・レット ニュース・8月号 LIVE LET NEWS



▲ WJはつり施工現場・芦川大橋（山梨県）

技術は、つながることで進化する。 — 新たな技術ネットワークが、未来のインフラを支える。 —

ライブ・レットでは、専門技術協会への積極的な入会を通じて、**新技術の情報収集、施工品質の向上、安全管理の徹底、人材育成**を推進しています。

株式会社ライブ・レットは、さらなる技術力・品質向上を目指し、新たに**日本ウォータージェット施工協会**および**（一社）静岡県新技術協会**へ入会いたしました。

今回新たに入会した2つの協会との連携を通じ、橋梁・道路・コンクリート構造物などの維持管理分野において、より高度な技術サービスの提供を目指します。

高圧ウォータージェット技術の普及と発展を推進する専門団体



日本ウォータージェット施工協会
(略称：JACON)

1992年に設立された全国組織で、高圧ウォータージェット工法の普及・発展を目的に、施工基準の整備、技術の水平展開、安全教育、専門技術者の育成などに取り組んでいます。

主な活動内容



安全講習会の実施



技術シンポジウムの開催



現場見学会の実施



施工基準・技術資料
の整備



▼ 第23回WJ安全講習＆ハンドガン安全捜査講習の様子 ※出典 日本ウォータージェット施工協会HP



会員数
117社
※HP参照

安全と技術向上を通じて、
高圧ウォータージェット工法の
発展と社会インフラの
維持管理に貢献しています。

新技術の普及と技術交流を通じ、地域インフラの発展へ



**一般社団法人
静岡県新技術協会**

建設分野における新技術・新工法の普及促進を目的として設立された団体です。会員企業・行政・技術者が連携し、技術交流や情報共有を通じて、地域インフラの整備・維持管理に貢献しています。

主な活動内容



新技術・新工法の
情報収集・提供



技術交流会・研修会の
開催



新技術の活用促進
および普及活動



人材育成と
技術力向上支援



▼ 第10回 技術研修会開催の様子 ※出典 （一社）静岡県新技術協会HP



会員数
50社
※HP参照

新技術を活かした
インフラ整備・保全を支え、
地域社会の安心・安全と
持続可能な発展に
貢献しています。

株式会社 ライブ・レット

〒400-1508 山梨県甲府市下曽根町1133-1

055-269-9293

055-269-9294

kanda@live-let.co.jp

<https://live-let.co.jp/>

お問合せQRコード



※こちらを読み取り、
メールをお送りください。

最新情報を各種SNSで発信中！



HP



Instagram



YouTube